

設問番号	出題した問題		設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		岡山県(公立)		全国(公立)		
	年度	設問番号			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1 (1)	H21	1 (1)	153+49 を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	○					○			○		94.0	0.1	95.1	0.1
1 (2)	H20	1 (1)	132-124 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	○					○			○		91.9	0.2	93.0	0.2
1 (3)	H20	1 (2)	52×41 を計算する	整数の乗法の計算をすることができる	○					○			○		85.9	0.5	86.5	0.4
1 (4)	H21	1 (3)	204÷4 を計算する	整数の除法の計算をすることができる	○					○			○		94.6	1.3	95.4	1.0
1 (5)	H26	1 (3)	9-0.8 を計算する	小数第1位までの減法の計算をすることができる	3A (5)イ					○			○		84.4	0.7	83.8	0.8
1 (6)	H19	1 (5)	1-5/8 を計算する	同分母の分数の減法の計算をすることができる	○					○			○		94.4	1.1	93.8	1.2
2	H22	3	長方形の黒い部分を表す分数を選ぶ	等分してできる部分の大きさを表すのに分数が用いられることを理解している	○					○	○				64.7	0.9	68.6	0.8
3	H24	2 (1)	47000は1000が何個集まった数かを書く	数の相対的な大きさについて理解している	○					○			○		86.7	0.4	88.8	0.5
4	H27	3	午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める	日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる	3B (3)イ					○			○		74.1	0.9	74.8	1.0
5	H20	4 (1)	12mのテープの長さは3mのテープの長さの何倍かを求める式と答えを書く	何倍かを求めるために除法が用いられることを理解している	○					○			○		82.3	1.8	83.0	1.4
6	H25	9	最小目盛りが2に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く	棒の長さで最小目盛りに着目して、数値が最も大きい項目とその数値を読み取ることができる						○			○		83.9	3.7	85.7	2.8
7	H22	9 (2)	折れ線グラフを読み、気温の上がり方が最も大きい時間を書く	折れ線グラフから、増え方が最も大きい区間を読み取ることができる			○			○			○		73.3	4.5	73.8	4.3
8	H19	6 (2)	方眼紙上で、3点が与えられた平行四辺形の残りの点の位置を選ぶ	平行四辺形の定義や性質を理解している			○			○	○				87.7	0.9	88.5	0.9
9	H22	8 (2)	長方形を1本の対角線で切って組み合わせてできた図形の名前を選ぶ	二等辺三角形の定義や性質を理解している			○			○	○				83.0	2.6	84.7	2.5
10 (1)	H27	4 (1)	90°, 180°, 270°, 360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ	180°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることができる	4B (2) アイ					○	○				82.3	0.3	81.3	0.3
10 (2)	H27	4 (2)	分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める	180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる	4B (2) アイ					○			○		61.7	0.5	58.0	0.5

※正答率、無解答率については、当該年度の全国学力・学習状況調査の結果を掲載しています。